

人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり に向けて

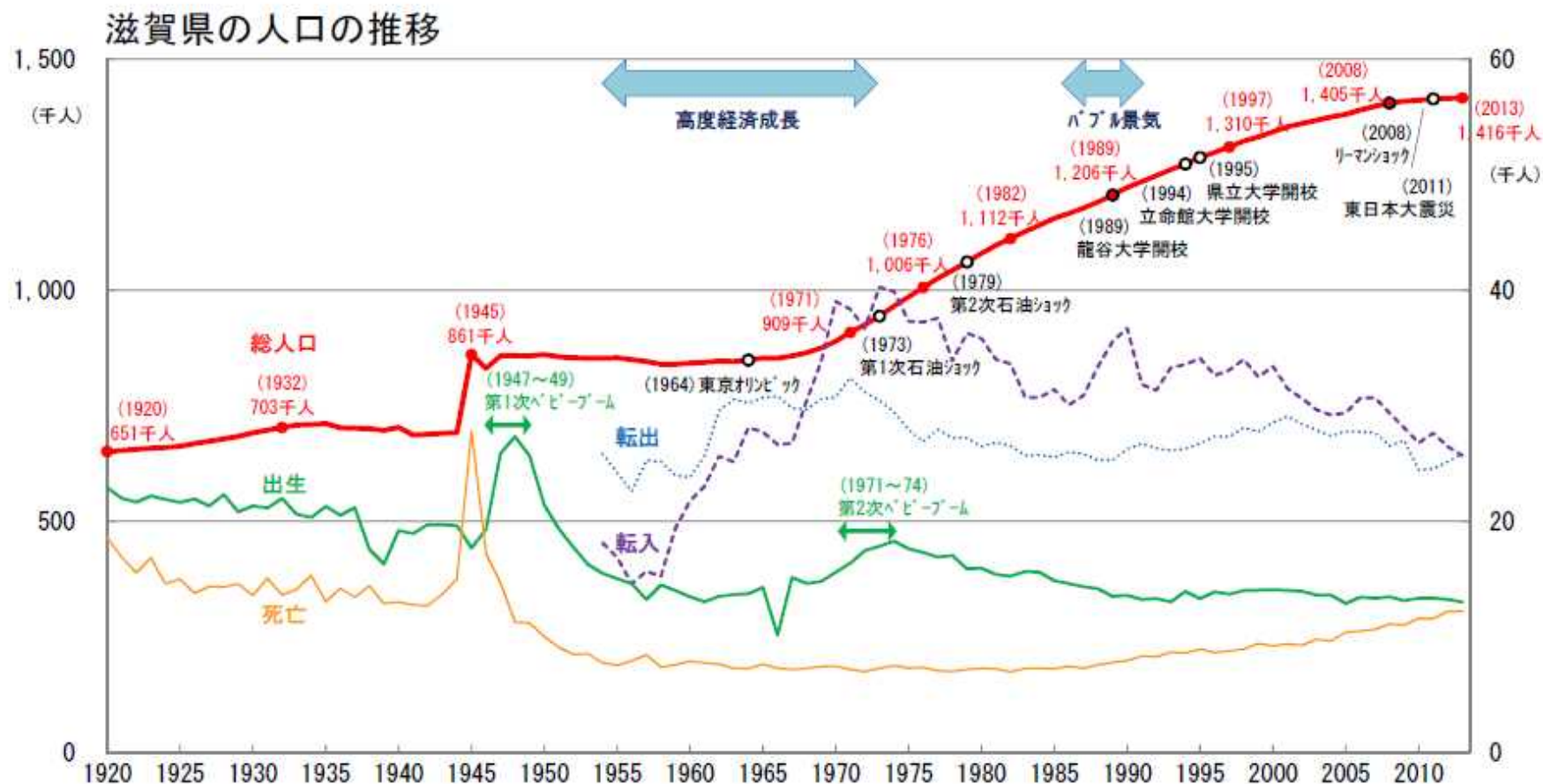
2015年6月
滋賀県総合政策部企画調整課



滋賀県の人口動向



- 県内人口は、1960年代以降増え続け2008年には140万人に到達
- 自然増減では戦後増加が続いていたが、近年の死亡者数増加により出生数に近づきつつある。
- 社会増減では1968年以来転入超過であったが、近年転入数に陰りが見られ、2013年には転出超過に転じた。

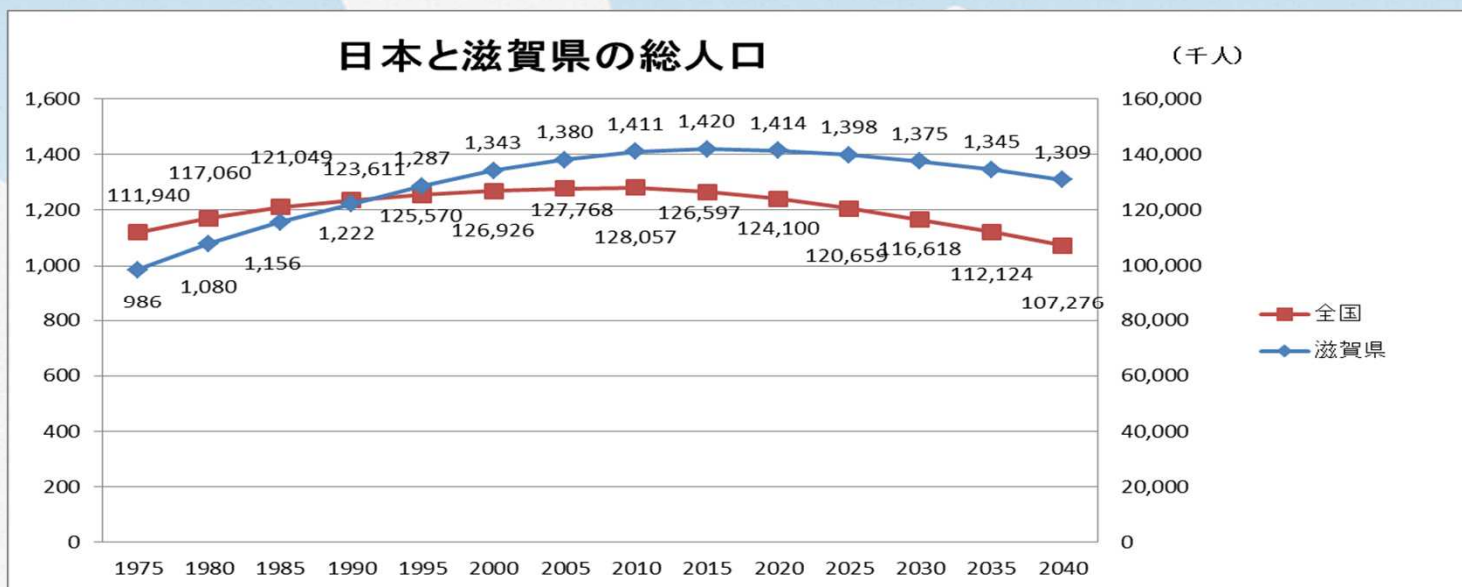


国勢調査(総務省)、住民基本台帳人口移動報告(1954年~)(同)、人口動態統計(厚生労働省)

滋賀県の将来人口推計



- 平成26年10月1日現在の推計人口では、48年振りのマイナスになり、滋賀県でもいよいよ人口減少局面に入ったことが推測される。
- 社人研によると今後25年で10万人以上の減少が推計されている。

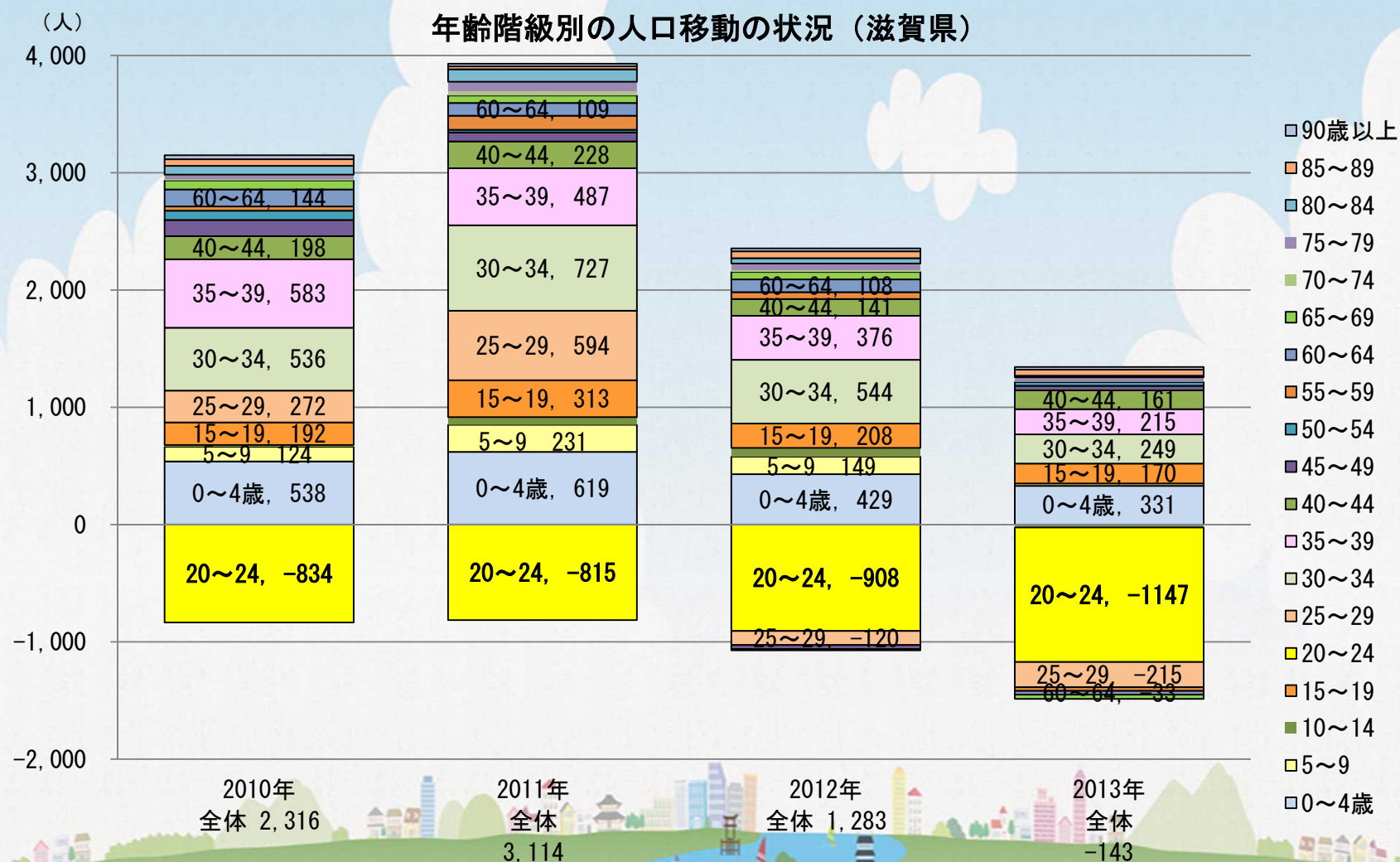


年	2010年	2025年	2040年
全国(千人)	128,057	120,659	107,276
滋賀県(千人)	1,411	1,398	1,309
全国増減率	-	▲ 5.8%	▲ 16.2%
滋賀県増減率	-	▲ 0.9%	▲ 7.2%

年齢階級別の人口移動の状況



- 近年の人口移動状況では、20～24歳が転出超過となっている。
- 大学・短大等を卒業後に県外に就職する者が多いことが背景にあると考えられる。



総務省人口推計により作成

地域ブロック別の人口移動の状況



- 東京圏、東海への転出は、2010年、2013年とも超過している。
- 関西では、2010年はすべて転入超過(関西全体では2,355人転入超過)であったが、2013年は大阪府、兵庫県、三重県において転出超過(関西全体では716人転入超過)となっている。

ブロック、府県名
上段2013年転入超過数
(下段2010年転入超過数)

(背景が赤色は2010,2013年とも減少している県等、オレンジは2010年から減少に転じた府県等)

北海道
30人
(59人)

北陸
168人
(181人)

東北
3人
(59人)

中国
159人
(178人)

兵庫県
△47人
(164人)

京都府
878人
(1,869人)

滋賀県
△143人
(2,316人)

甲信越
26人
(42人)

北関東
△40人
(35人)

九州
100人(406人)

四国
110人
(65人)

大阪府
△253人
(42人)

東海
(三重除く)
△276人
(△210人)

東京圏
△1,116人
(△854人)

奈良県
114人
(223人)

三重県
△11人
(31人)

和歌山県
35人
(26人)

近隣府県へ(から)の通勤・通学者数

- 滋賀県から京都府、大阪府への通勤・通学者数は約8万1千人であるが、京都府、大阪府から滋賀県への通勤・通学者数は約2万4千人であり、その差5万7千人となっている。
- 滋賀県から中部・北陸圏への通勤・通学者数は約5千人であり、生活圏としての結び付きは関西圏と比較して弱い。

都府県名

上段 2010年滋賀県からの通勤・通学者数

下段 2010年滋賀県への通勤・通学者数

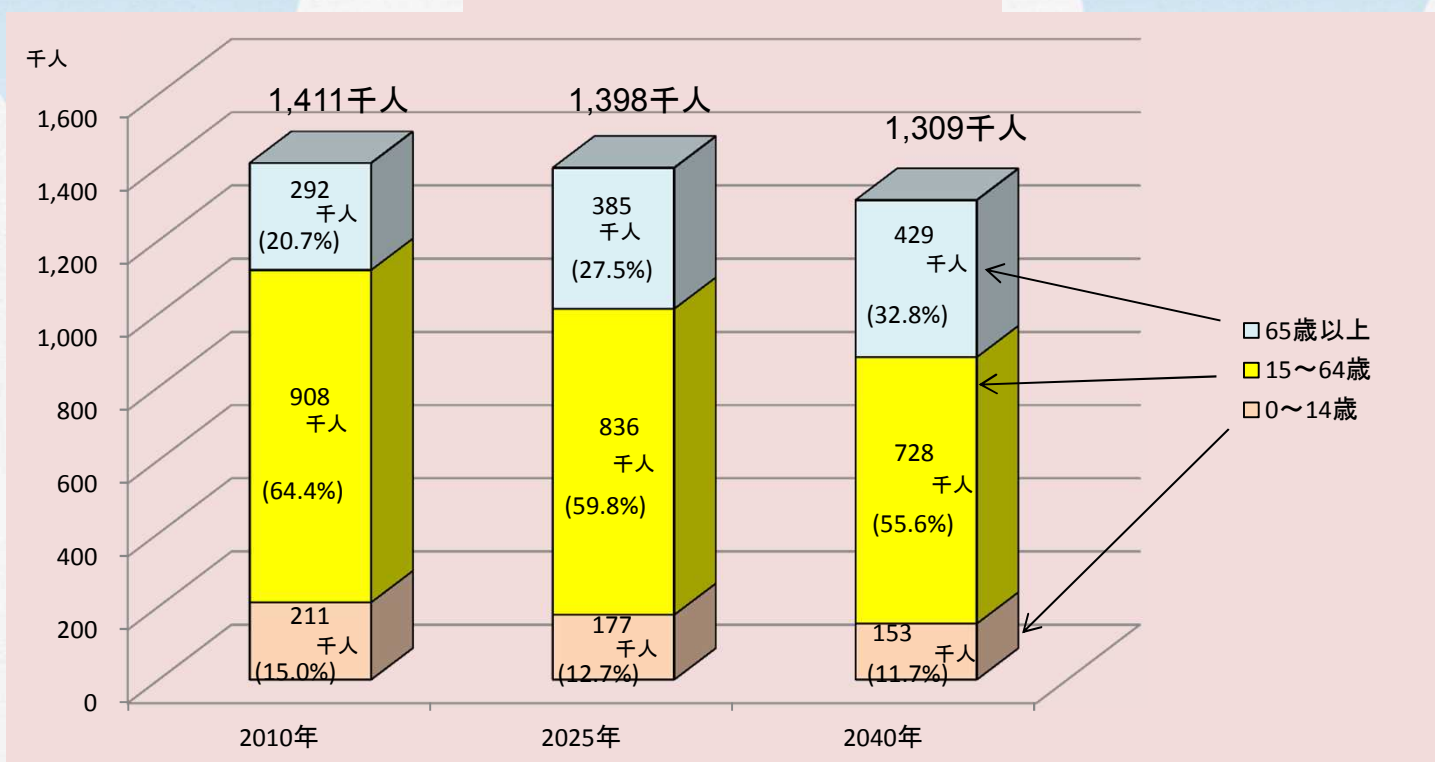


滋賀県の3世代別人口および構成比



- 2010年では、5人に1人が高齢者であり、高齢者1人を生産者3.1人で支えている**騎馬戦型**の時代である。
- 2040年では、3人に1人が高齢者となり、高齢者1人を生産者1.7人で支える**肩車型**の時代となる。

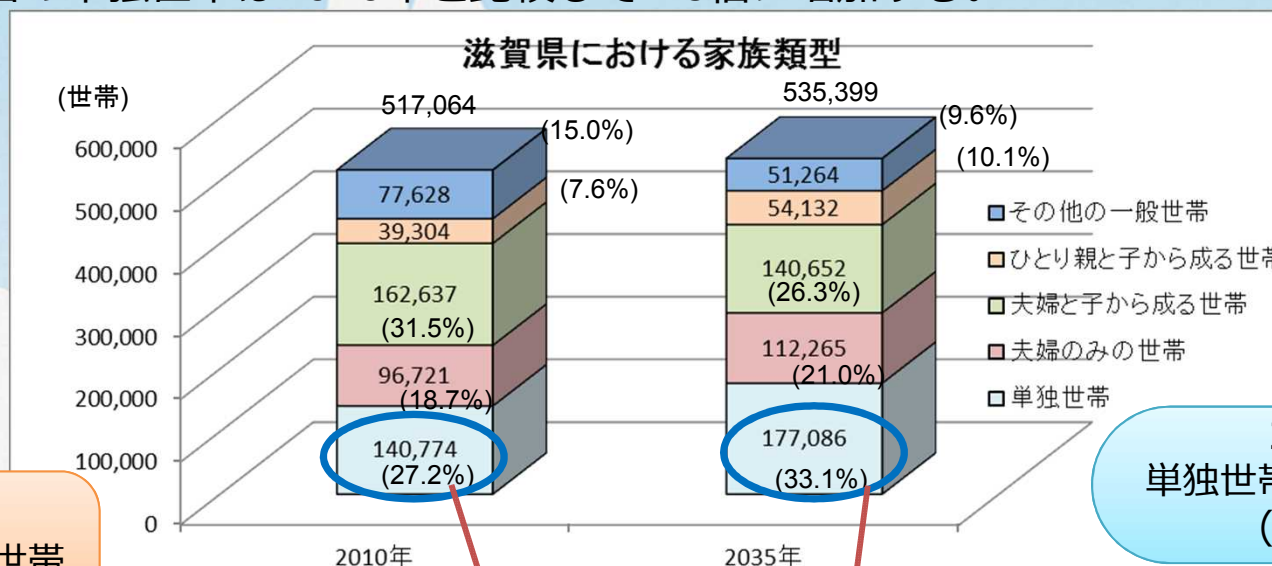
滋賀県の3世代別人口および構成比



滋賀県の単独世帯数



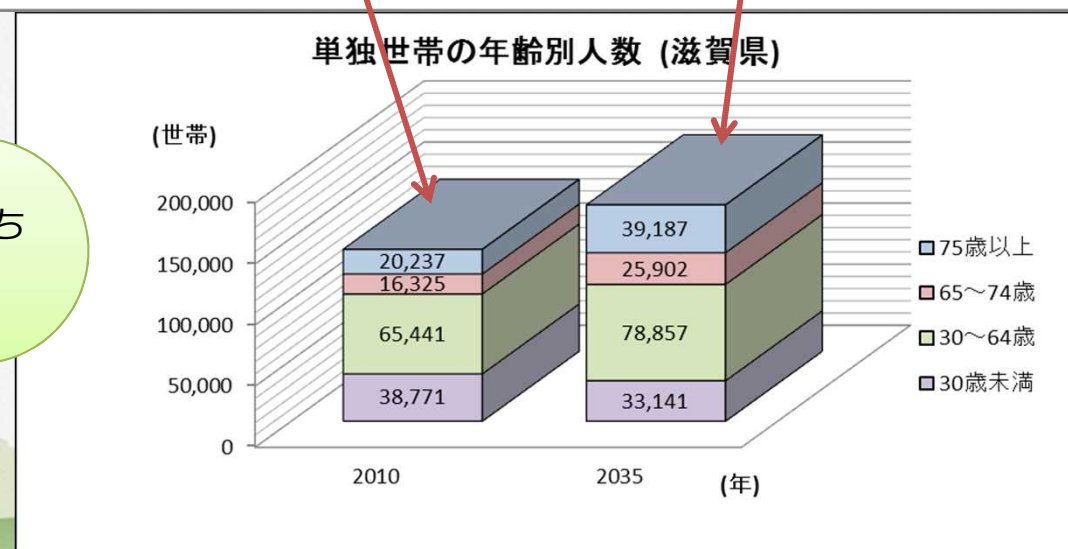
- 2035年の家族類型を見ると、単独世帯の割合が一番多くなると推計されている。
- 特に高齢者の単独世帯は2010年と比較して1.8倍に増加する。



2035年
単独世帯177,086世帯
(33.1%)

2010年
単独世帯140,774世帯
(27.2%)

2010年
単独世帯のうち
65歳以上
36,562世帯



2035年
単独世帯のうち
65歳以上
65,089世帯

県内市町の7割近くが既に人口減少

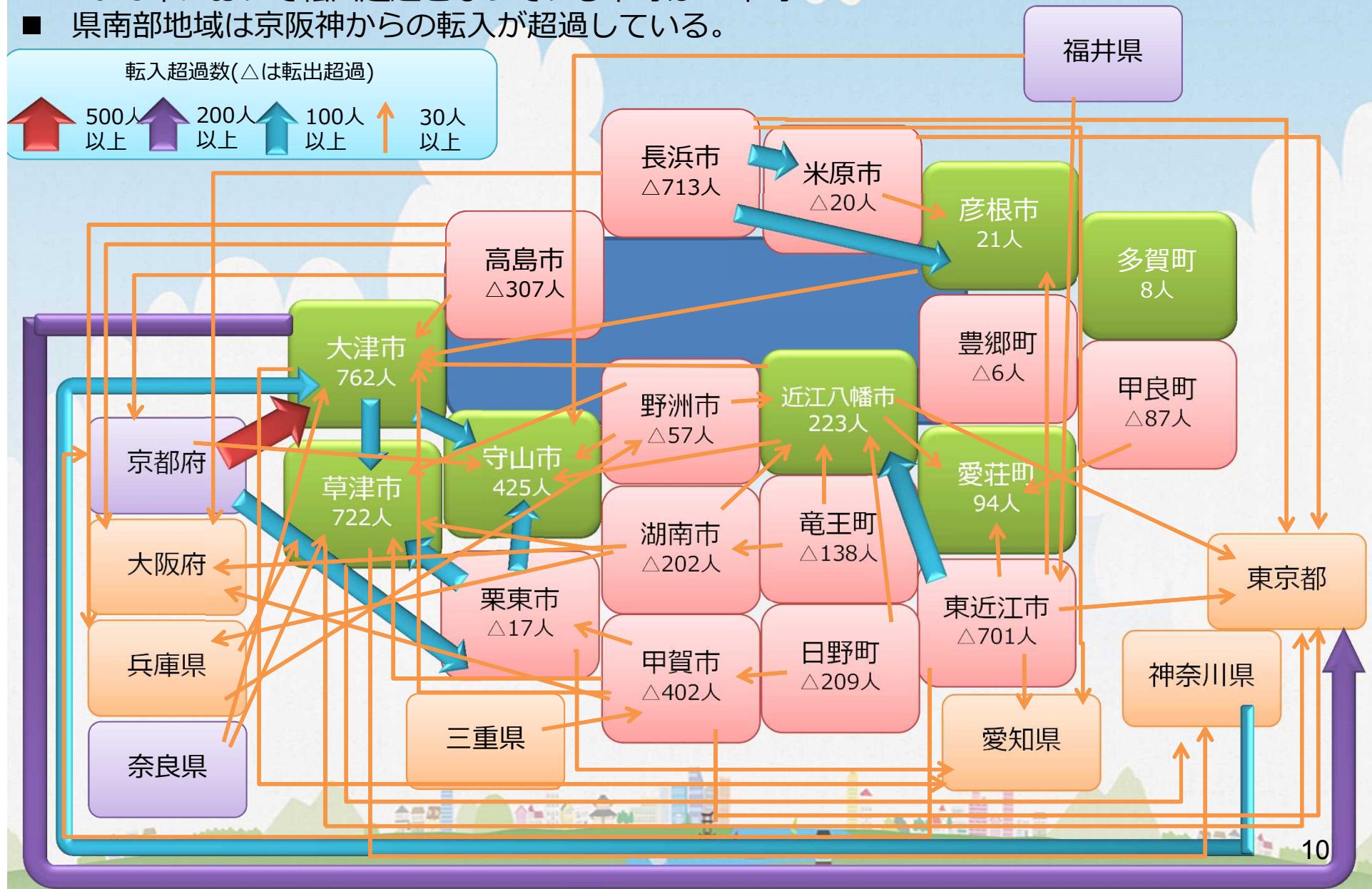
- 県内19市町の内、既に減少に転じている市町は13市町
- 甲良町、多賀町は*1990年(H2)から減少に転じている。



市町別の社会増減 (2013年)

- 2013年において転出超過となっている市町は12市町
- 県南部地域は京阪神からの転入が超過している。

滋賀県統計課人口推計結果(外国人含む)により作成



市町別の県内における人口移動（2013年）

- 人口移動を県内に限って見ると、南部地域では草津市、守山市への移動が多く、東部地域では近江八幡市、彦根市、愛荘町への移動が多い。

滋賀県統計課人口推計結果(外国人含む)により作成

